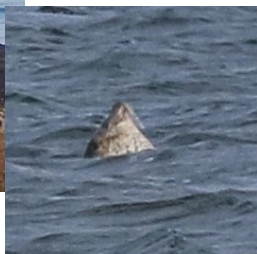




ネイチャーセンターだより

2025年11・12月号

新・いきもの図鑑



▲岩の上に寝そべる姿(左)と
海上に頭を出しているところ(右)。

【参考文献】

エコ・ネットワーク. 1997. 北海道 森と海の動物たち. 北海道新聞社.

ゴマフアザラシ（胡麻斑海豹）

身体に^{ひょう}豹に似た^に斑紋^{はんもん}があることにちなんで「海豹」とされたといわれています。ゴマフアザラシは体にゴマを散らしたような黒い^{はんてん}斑点があるのが特徴ですが、ゼニガタアザラシとよく似た模様のものもあります。白っぽい体毛は濡れていると黒っぽく見えることもあり、ゴマフアザラシとゼニガタアザラシの識別は意外にも容易ではありません。

根室半島周辺にはゴマフアザラシとゼニガタアザラシの2種のアザラシが生息しており、そのうちゴマフアザラシはオホーツク海側に多く生息しています。春先に流水上で出産・子育てをし、^{ふうれんこ}風蓮湖では氷のない夏の間も生息しています。夏は走^{はしり}丹^{たん}先端付近から干潟上^{ひがた}にいる姿^{すがた}を観察しやすいのですが、11～2月ごろは春国岱からもオホーツク海の海上に頭を出している姿や氷上に寝そべる姿を見る機会があります。

ラムサール条約^{じょうやくしつち}湿地登録20周年記念事業を行います！

^{ふうれんこ}風蓮湖・^{しゅんくにつたい}春国岱は2005年11月にラムサール条約による「^{じょうやく}国際的に重要な^{しつち}湿地」に登録され、今年で20周年を迎えました。それを記念し、以下の行事を開催します。ぜひご参加ください。

11月8日(土) ^{ふうれんこ}風蓮湖・^{しゅんくにつたい}春国岱のラムサール条約湿地登録日！

◆^{こうえんかい}講演会 ◇時間 10:00～ ◇場所:春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

- ①^{さいせい}春国岱ハマナス群落再生プロジェクトについて 講師:根室市歴史と自然の資料館 学芸主査 外山雅大
- ②^{かんきようしやう}環境省事業における春国岱の保全活動 講師:環境省釧路自然環境事務所 自然保護官 奥野真木保

◆^{ほうじよさくせいび}春国岱ガイドツアー&エゾシカ防除柵整備 ◇時間 13:00～ ◇場所:春国岱

春国岱の自然環境や動植物を観察できるガイド付きツアーと、エゾシカからハマナスを守る柵の整備活動体験を行います。

11月～来年1月 ※開催日の詳細は根室市公式 SNS 等でお知らせします。

◆^{しやしんてん}今昔写真展 ◇場所:春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

^{かこ}過去と^{げんざい}現在の、^{ふうれんこ}風蓮湖・^{しゅんくにつたい}春国岱の風景や動植物の^{てんじ}写真を展示します。



【お申込み・お問合せ】
根室ワイズユースの会
(根室市農林課
林務・自然保護担当)
電話 0153-23-6111

お申込み
QRコード



見どころMAP

★春国岱は風を防げる場所がほとんどありません。防寒対策をしっかりとしていきましょう。また、木道の除雪は行っていません。足元にご注意ください。



- 観察路(ヒバリコース 1.2km、約 25 分)
- 観察路(ハマナスコース 1.4km、約 30 分)
- 観察路(キタキツネコース 0.8km、約 20 分)
- 観察路(アカエゾマツコース 0.5km、約 15 分)
- 観察路(小鳥の小道 1.4km、約 30 分)
- 作業路(春国岱上は自転車を含む車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)
- 東梅野鳥観察舎(東梅ハイド)

11・12月の見どころ予報

- 凡例 ◎ ぜったい見られる(と思う)
○ ちょっと気をつければ見られる
+ よーく気をつければ見られる
・ めったに見られない

オジロワシ オオワシ		11月	+	立枯木や消波ブロックの上、砂丘の上にとまっていることが多く、また、カモの群が一斉に飛んだときはワシ類が飛んでいる可能性があります。ネイチャーセンター付近の上空を飛んでいることもあります。
		12月	○	
タンチョウ		11月	○	春国岱周辺の湿地や干潟などで見られます。12月に入ると釧路湿原に移動するものが増え、根室では見られる機会が減ります。
		12月	+	
オオハクチョウ		11月	◎	今シーズンは10月7日に初飛来し、徐々に数が増えてきています。春国岱散策路以外に、東梅ハイドや温根沼でも観察できます。厳冬期、多くは本州へ移動し、根室では少数のみが越冬します。
		12月	○	
カモ類		11月	○	11月、春国岱湾では、2,000羽を超えるカモ類が観察できます。12月は、多くの種類が南へ渡っていくため数が減っていきませんが、根室湾では、クロガモやウミアイサ、ホオジロガモ、コオリガモなどの海ガモ類がよく見られるようになります。
		12月	○	
カモメ類		11月	◎	シロカモメとオオセグロカモメがよく観察で、12月にはウミネコやユリカモメは南へ渡っていくため見る機会が減ります。ワシカモメは少数が観察できます。
		12月	○	
春国岱	野鳥 (森)	カラ類やコゲラ、アカゲラなどが見られます。運が良いと、クマガラの鳴き声が聞けたり、森の上を飛ぶ姿が見られます。		
	けもの	エゾシカがよく見られ、キタキツネが見られることもあります。		
自然 学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、エナガ(シマエナガ)、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)、カケス(ミヤマカケス)が見られます。		
	けもの	エゾシカがよく見られ、エゾリスやシマリスが見られることもあります。		

ハマナスコースってどんなところ？

散策された方が「何もなかったです…」という方と「大満足です！とても良かったです！」という方に大きく二分する声をいただくのがハマナスコース。春国岱で一番長い散策コースで、春国岱の北西の先端が3つに分かれる手前まで行くことができます。春国岱駐車場から片道4km弱あるので、十分な時間としっかりした装備がないと行くのは難しく、散策される方はあまり多くありません。雪が積もる前の11～12月は、夏のあいだ非常に多くいた蚊がいなくなり、気温も氷点下になりにくいため、この長いコースも歩きやすくなります。(5～6月も同様に歩きやすい季節です)

右手に広がるオホーツク海には、クロガモやコオリガモ、ビロードキンクロ、ウミアイサなどのカモ類のほか、この時期はアビ類が見られることもあります。また、海上にアザラシが顔を出していることもあり、双眼鏡や望遠鏡で海上をよく観察すると思わぬ出会いがあるでしょう。海岸草原ではハギマシコの群れが植物の種を食べていることもあります。左手には第一浜堤上に砂丘が連なり、エゾシカの群れに出会うこともしばしば。じっとこちらを見つめるエゾシカをしばし観察させてもらいましょう。砂丘の上におりているオジロワシやくつろぐキタキツネに出会うこともあります。海側の石堤がなくなるあたりが終点です。ここからは眼前に湿地が広がり、その先には風蓮湖の北西から伸びる走古丹の先端が見えます。



▲エゾシカの群れ。秋冬に特によく見られる。



▲右に海、中央に海岸草原、左に湿原と森が広がる。

左の写真のように、ハマナスコースは何もないという表現は間違いないのかもしれませんが、平坦な地に草原と湿原が広がり、海が見え、砂丘があり、奥には森が広がり、そこにはさまざまな生きものが息づいています。見渡す限り広がる大自然を感じたい方にはおすすめのコースです。生きものを観察したい場合はぜひ双眼鏡をお忘れなく。でもやはり、距離が長くて歩くのが難しいという方は、11月8日のガイドツアー(表紙 NEWS欄参照)※でその風景をご覧ください。

※春国岱駐車場より奥は、通常、自転車を含む車両の通行は条例により禁止されています。

こうびょうげんせい

「高病原性鳥インフルエンザ」ご注意ください



10月に道内や根室市内で回収された野鳥の死体から高病原性鳥インフルエンザが確認されており、環境省により警戒レベルが最大レベルに引き上げられました。2025年春には根室市内で高病原性鳥インフルエンザによる野鳥の死亡が多くあり、注意が必要です。むやみに野鳥を恐れる必要はありませんが、人がウイルスを広めないために、水辺で野鳥観察をする場合には、以下のようにご注意ください。

1. 生きている野鳥や野鳥の死体には、素手でさわらない。
2. 野鳥のフンや羽毛をできるだけふまない、さわらないようにする。もしさわった場合は、流水とせっけんで手をよく洗い、うがいをする。
3. 野外観察の後は、くつの底や車のタイヤをしっかりと洗い、アルコールやうすめた塩素系の漂白剤などで消毒する。帰りに動物園や農場には立ち寄らない。
4. 弱った野鳥や死んだ鳥(特に水鳥、カラス、猛禽類など)を見つけた場合は、根室振興局に場所や状況を知らせる(電話 0153-23-6823 根室振興局)。

イベント情報

【申込・問合せ】春国岱ネイチャーセンター
電話：0153-25-3047
E-mail: nemu_nc@marimo.or.jp

メール



◆11/23 初心者向け水鳥観察会

風蓮湖に渡ってきたオオハクチョウなどの鳥たちを観察します。

◇日時：2025年11月23日(日・祝)9:30～12:00 ※荒天時は11月24日(月・振休)に順延

◇集合／解散：春国岱ネイチャーセンター／春国岱駐車場

◇対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

◇参加費：1人100円

◇服装・持ち物：長靴、防寒具上下、手袋、帽子、飲み物、筆記用具、お持ちの方は双眼鏡(貸出しあり・先着順)



◆12/7 森の恵みでオーナメントづくり

木の実と森の生きもののお話と、木の実を使ったオーナメントづくりをします。

◇日時：2025年12月7日(日) ①10:00～11:30 ②14:00～15:30

◇場所：春国岱ネイチャーセンター

◇対象：3才以上(小学生以下は保護者同伴)

※材料にクルミの殻があります。アレルギーの方はご注意ください。

◇参加費：1組300円(材料費)+1人100円(保険代)

◇服装：汚れてもいい服装



◆12/20 ネイチャー講座(講演会)

今年の春先に根室で多くの野鳥が死亡した高病原性鳥インフルエンザについて、講師の方にお話しいただきます。

◇日時：2025年12月20日(土)13:30～15:00

◇場所：春国岱ネイチャーセンター2階

◇対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)

◇参加費：無料 ◇持ち物：筆記用具

※イベントはすべて参加申込みが必要です。



募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って



自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地

TEL: 0153-25-3047 FAX: 0153-25-8570

Eメール: nemu_nc@marimo.or.jp



HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

◆開館時間 9:00～17:00(10月は16:30閉館)

◆休館日：11月4・5・12・19・25・26日

12月3・10・17・24・29～31日(年始は1月4日から開館)

◆団体でご利用の方へ(事前予約制・2週間前までにご連絡ください)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。

SNSでも最新の自然情報を発信しています!



ラムサール条約湿地
風蓮湖・春国岱

2005年11月登録【今年で登録20周年】